

## 令和2年度 病虫害発生予察 特殊報 第1号

病虫害名： ヨコバイ科の一種 *Eupteryx decemnotata* Rey

対象： ローズマリー

### 1. 病虫害情報の内容

*Eupteryx decemnotata* Rey の発生と被害を、東京都区部及び多摩地域で初めて確認した。

### 2. 発生経過

- 令和2年5月に東京都区部で鉢植えのローズマリーに害虫が発生し、葉が変色しているとの情報提供があった。現地調査を行ったところ、採取した葉からヨコバイ類の成虫が確認された。また、多摩地域のローズマリーにおいても、類似したヨコバイ類が確認された。横浜植物防疫所に同定を依頼した結果、いずれも *Eupteryx decemnotata* Rey であることが判明した。
- 本種は平成28年に千葉県で確認されて以降、神奈川県、大分県、大阪府、京都府、愛知県で発生が確認されている。

### 3. 形態

成虫は体長2.2～3.0mmで細長い。体色は黄緑色で、前翅に褐色で縁取られた斑紋が多数ある(図1)。頭部には10個の黒色斑紋がみられる(図2)。

### 4. 生態

国内での生態は明らかになっていない。本種はヨーロッパ原産で、ヨーロッパ各国、アメリカ合衆国、チュニジアで発生が確認されている。寄主植物は主にシソ科であり、ローズマリーの他、海外ではレモンバーム、ペパーミント、イヌハッカ、バジル、オレガノ、マジョラム、セージ、タイム等への寄生が報告されている。

### 5. 被害

本虫が吸汁することで葉表にかすり状の小斑点を生じる。被害が大きいと黄化、落葉する(図3、4)。

### 6. 防除対策

- 令和2年10月29日現在、本種に対する登録農薬はない。
- 寒冷紗等の被覆資材で植物を覆い、本虫の侵入を防止する。
- 被害が大きい株は抜き取り、穴に埋める等適切に処分する。

### 7. 参考文献

特殊報:千葉県、神奈川県、大分県、京都府、愛知県  
河地邦弘(2018) Nature Study 64(7):7



図1 成虫（横浜植物防疫所原図）



図2 成虫の頭部（横浜植物防疫所原図）



図3 ローズマリーの葉の被害  
（かすり状の小斑点）



図4 鉢植えのローズマリーにおける被害(葉の黄化)